



平成29年8月23日

平成29年度「データ関連人材育成プログラム」の選定機関の決定について

平成29年度「データ関連人材育成プログラム」について、取組機関を4機関選定しましたのでお知らせいたします。

1. 事業概要

本事業は、我が国が第4次産業革命を勝ち抜く上で求められるデータ関連技術（AI、IoT、ビッグデータ、セキュリティ等）を高度に駆使する人材（高度データ関連人材）について、発掘・育成・活躍促進を一貫して行う企業や大学等における取組を支援することを目的としています。

具体的には、高度データ関連人材となり得る人材を発掘し、関連する知識・スキルの習得に加えて、キャリア開発までを一貫して行う以下のような取組を支援することで、高度データ関連人材の活躍を促進し、データ利活用社会のエコシステム構築への貢献を目指すものです。

- ・研究活動を通じて高度なデータの扱いに親しんだ博士課程学生や博士号取得者等を対象
- ・企業や大学等が人材の発掘・育成・活躍促進を目的としたコンソーシアムを形成
- ・インターンシップやPBL（課題解決型学習）等の実践的な研修プログラムを開発・実施

※本報道発表は、平成29年4月26日付け「平成29年度「データ関連人材育成プログラム」の公募について」及び平成29年6月2日付け「平成29年度「データ関連人材育成プログラム」一次エントリーの公開について」の続報です。

2. 公募期間及び申請件数

平成29年4月26日（水）から同年5月26日（金）までの間に一次エントリーに申請のあった代表機関のうち、要件に合致する代表機関（計13件）に関する情報を公開し、平成29年6月26日（月）から同年6月30日（金）までの間に公募を行った結果、12件の申請書の提出を受け付けました。

3. 選定方法

文部科学省において、有識者等によって構成される「データ関連人材育成プログラム企画・審査委員会」を設置し、同委員会の審査結果を踏まえ、選定する機関を決定しました。

4. 選定件数 4件（詳しくは別紙をご覧ください）

<担当> 文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課 人材政策推進室
課長補佐 宮地俊一、基礎人材企画係長 広瀬章博
電話：03-5253-4111（内線4051）、03-6734-4051（直通）
メールアドレス：kiban@mext.go.jp

平成29年度 科学技術人材育成費補助事業データ関連人材育成プログラム
選定機関一覧

代表機関名	総括責任者名	正式エントリー時点におけるコンソーシアムの参画機関及び連携機関 (予定)※
国立大学法人 東京医科歯科大学	吉澤 靖之	(参画機関) 東北大学、慶應義塾大学、東京理科大学、国立国際医療研究センター、国立精神・神経医療研究センター、産業技術総合研究所、(株)シード・プランニング、公益財団法人がん研究会、バイオ産業情報化コンソーシアム(JBIC)
国立大学法人 電気通信大学	福田 喬	(参画機関) 株式会社ALBERT、株式会社エクサインテリジェンス、株式会社キャンパスクリエイト、株式会社金融エンジニアリング・グループ、コニカミノルタ株式会社、株式会社データフォーシーズ、株式会社ネットラーニング、情報・システム研究機構国立情報学研究所、東京工業大学、津田塾大学 (連携機関) 一般社団法人首都圏産業活性化協会、一般社団法人スーパー連携大学院コンソーシアム、一般社団法人 Python エンジニア育成推進協会、調布市商工会、日本アイ・ビー・エム株式会社、ソニー株式会社、ソフトバンク株式会社、株式会社野村総合研究所、株式会社日立製作所、株式会社富士通研究所、富士ゼロックス株式会社、情報・システム研究機構統計数理研究所、東京農工大学、筑波大学、青山学院大学
国立大学法人 大阪大学	西尾 章治郎	(参画機関) 神戸大学、滋賀大学、和歌山大学、奈良先端科学技術大学院大学 (連携機関) 京都大学、国立情報学研究所、統計数理研究所、産業技術総合研究所、理化学研究所革新知能統合研究センター、中外製薬株式会社、株式会社イトーキ、ダイキン工業株式会社、株式会社オプト、株式会社サイバーリンクス、西日本旅客鉄道株式会社、株式会社リクルートホールディングス、株式会社アイディーズ、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、第一生命ホールディングス株式会社、株式会社インテリジェンス
学校法人 早稲田大学	鎌田 薫	(参画機関) お茶の水女子大学、東京理科大学、東京女子医科大学、産業技術総合研究所、理化学研究所、経済同友会、新経済連盟、日本 IT 団体連盟、IT キャリア推進協会、ソフトバンク、みずほ銀行、エマージングテクノロジー、オルトブリッジ・テクノロジー、韓国カトリック大学、奈良県立医科大学(予定)

計 4 件

※参画機関および連携機関名は各代表機関より提出された申請様式に記載の順に記載。



国立大学法人東京医科歯科大学 データ関連人材育成プログラム

ゲノム・オミックス医療
臨床実装の怒涛の発展

大規模バイオバンクの普及
予防医学・国民医療の向上

IoTによる参加型医療
生涯型ヘルスケアの展開

生命医療情報の拡大 医療ビッグデータ時代の到来

データサイエンティスト人材育成 ビッグデータ解析・AI国際競争力獲得

ビッグデータ医療・AI創薬コンソーシアム

研究会活動

ビッグデータ医療/AI創薬
Open Innovation 研究情報交換活動

データ関連
人材育成活動

コアカリキュラム 共通科目・専門科目

研修プログラム 東医歯大、理科大、
東北MMB,厚労省NC, がん研

代表機関
東京医科歯科大学
医歯学総合研究科

運営委員会

データ科学推進室 | キャリア形成支援室

コンソーシアム運営・管理
(株)シード・プランニング

バイオ産業情報化
コンソーシアム(JBIC)

産業技術総合研究所
(人工知能研究センター、
創薬分子プロファイリング研究センター)

がん研究会

国立国際医療研究
センター

国立精神・神経医療
研究センター

東北大学
東北メディカル・メガバンク
薬学研究科

東京理科大学
薬学研究科

慶應義塾大学
薬学研究科

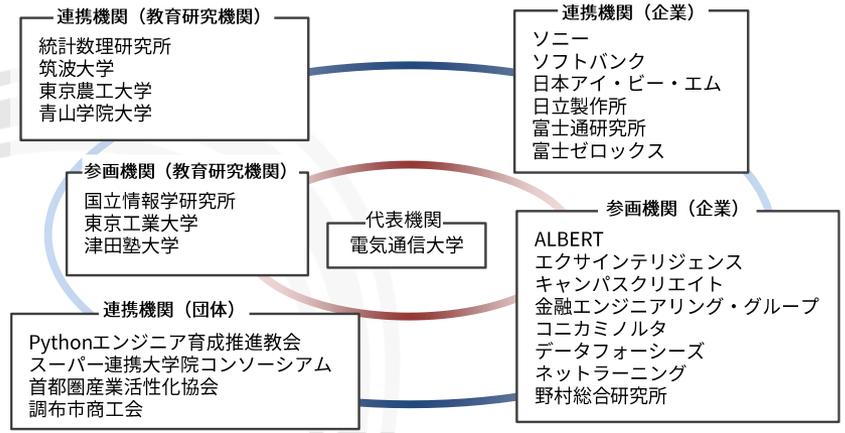
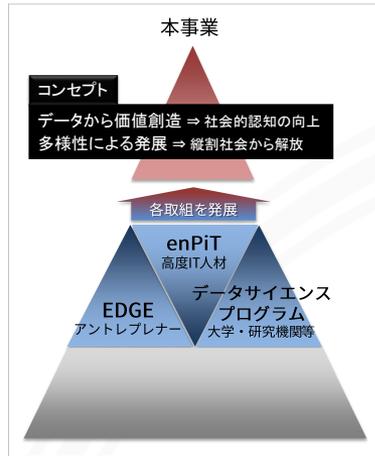
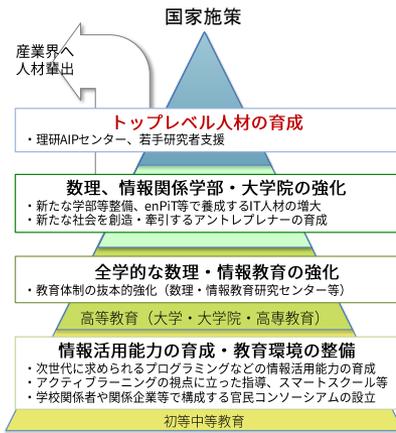
連携機関



連携機関連絡会議

問い合わせ先:

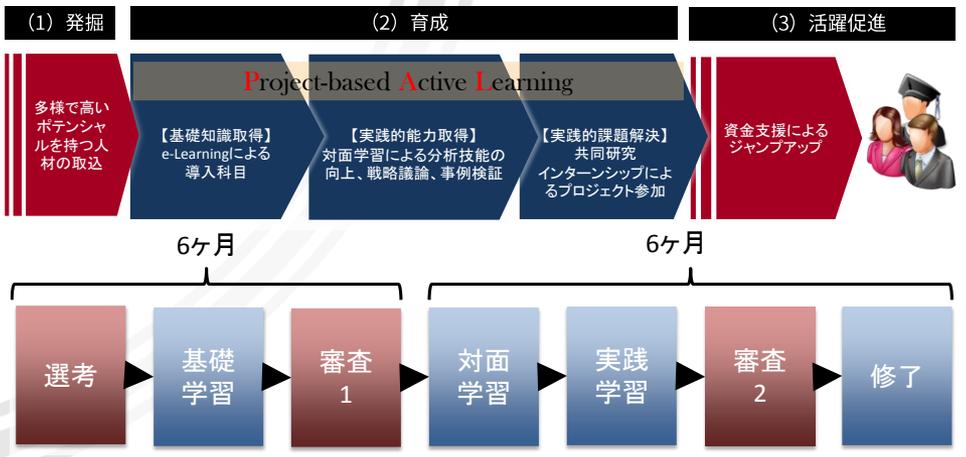
東京医科歯科大学
学長戦略企画課
03-5803-5021 (5007)
houki.adm@tmd.ac.jp



AI、IoT、ビッグデータ、セキュリティ及びその基盤となるデータサイエンス等の情報活用能力を備えた創造性に富んだトップレベル人材の育成

卓越した科学者、技術者を輩出し続ける電気通信大学と国内有数の教育研究機関及び企業、各種団体による新しい産学官連携のコンソーシアム

学士課程（学士）								博士前期課程（修士）			
1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4
数論統計学Ⅰ	数論統計学Ⅱ	情報統計学Ⅰ	情報統計学Ⅱ	情報統計学Ⅲ	データサイエンスⅠ	データサイエンスⅡ	データサイエンスⅢ	数論統計学Ⅰ	数論統計学Ⅱ	情報統計学Ⅰ	情報統計学Ⅱ
数論統計学Ⅳ	数論統計学Ⅴ	数論統計学Ⅵ	数論統計学Ⅶ	数論統計学Ⅷ	数論統計学Ⅷ	数論統計学Ⅷ	数論統計学Ⅷ	数論統計学Ⅷ	数論統計学Ⅷ	数論統計学Ⅷ	数論統計学Ⅷ
データサイエンスⅠ	データサイエンスⅡ	データサイエンスⅢ	データサイエンスⅣ	データサイエンスⅤ	データサイエンスⅥ	データサイエンスⅦ	データサイエンスⅧ	データサイエンスⅧ	データサイエンスⅧ	データサイエンスⅧ	データサイエンスⅧ
データサイエンスⅧ	データサイエンスⅧ	データサイエンスⅧ	データサイエンスⅧ								



数理・統計学系、データ工学系、人工知能系、経営工学系に分類されるデータサイエンスカリキュラムマップに基づく高度な理論と技術を補完

高いポテンシャルを持つ多様な専門分野の人材に対する、適切なプロセスの実施とコンソーシアムの支援による育成、活躍促進を推進

事業スキーム

- ① 情報工学以外の多様な専門人材にも情報発信・門戸解放し、インターネットを通じてどこからでも学習できるシステム。
- ② e-Learning、対面学習、実践的課題解決のPAL (Project-based Active Learning)。
- ③ 修了者に企業での登用、ジャンプアップの資金提供（ドクターコース授業料等）、海外研修プログラム推薦等の機会提供。

連絡先

国立大学法人電気通信大学 産学官連携センター
田村元紀 教授 清洲正勝 特任助教
E-Mail: dep-office@sangaku.uec.ac.jp

データ関連人材育成関西地区コンソーシアム（代表機関：大阪大学）

関西地区において産官学が**本気**で連携し、データ関連人材育成の広域拠点を形成し、データ関連人材の輩出を起点とした産業構造の変革を実現する。

■ 受講者がデータ関連知識・スキルを習得できる網羅的教育プログラム

A:データサイエンス基礎コース

ビジネス創出や社会問題解決において、課題設定、データサイエンス全体俯瞰能力向上、データ収集・統合、データ分析、データ解釈の能力を身につける座学講義。各大学のプログラムを相互補填・連動して提供（年度ごと開講、e-Learning）

B:データサイエンス実践コース

オープンデータ・企業が公開するデータを活用した問題解決型（実践型）Project Based Learning、インターンシップ、共同研究型研修（実習）プログラム（神戸大学・和歌山大学・奈良先端科学技術大学院大学で実施、半年～1年コース）



■ 受講対象者と募集予定数

A・Bコース：
博士課程学生、社会人 約30名
数理、情報系の修士課程学生 若干名

Cコース：
医学系大学院博士課程学生 約35名
医学博士

Aコースを修了すると（約半年）・・・・・・・・・・・・・・・・基礎コース修了証

AコースとBコースを修了すると（1年間～）・・・・・・・・データサイエンス認定書

※A、Bコースともに大学が持つ優れた教育コンテンツに基づいたシードリブ型教育

C:医療データ基礎実践コース



医師・医療従事者が持つ医療データを分析・解析・解釈し、自らの医療スキル向上や学会発表につなげたいというニーズに基づいた短期集中型研修。医療データの収集・統合・分析・解釈の知識・スキルについてのe-Learningと実際の医療への適用についての座学・ケーススタディなど半日程度の研修として実施。

Cコースを修了すると（e-Learning + 半日実習）・・・・・・・・医療データコース認定書

■ 網羅的なデータ関連人材教育を実現するコンソーシアム体制

大学・研究機関

大阪大学	滋賀大学	理化学研究所AIP
京都大学	和歌山大学	産業技術総合研究所
神戸大学		統計数理研究所
奈良先端科学技術大学院大学		国立情報学研究所

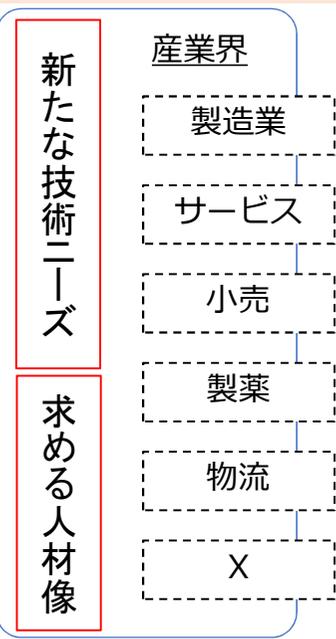
関西経済連合会
主として関西一円において経済活動を展開している企業、団体、学校法人など1309の会員で構成する総合経済団体

企業（インターンシップ）

中外製薬	オプト	第一生命
イトーキ	サイバーリンクス	
ダイキン	インテリジェンス	JR西日本

企業（データ提供等）

リクルート
あいおいニッセイ同和損保
アイディーズ
サイバーリンクス



【問い合わせ先】 データ関連人材育成関西地区コンソーシアム 事務担当
大阪大学 研究推進・産学連携部 研究推進課 電話：06-6210-8242 E-mail：kensui-kensui-data@office.osaka-u.ac.jp

高度データ関連人材育成プログラム

代表機関：学校法人早稲田大学

本事業の主要3観点と目的

本事業は、代表機関と参画機関から成るコンソーシアム運営協議会により運営され、連携機関の協力のもと、博士課程学生とポストクのデータ関連人材を強化しつつ、将来の博士課程学生候補である学部生・修士やキャリアとなる社会人も巻き込むカリキュラムを提供し、Society5.0の核となる先端技術開発や融合ビジネスの現場などに人材輩出するため、協賛金を活用した自立可能なスキームを確立する。

観点1：幅広い領域の博士・ポストク人材育成

- ・文系・理系の博士・ポストクにさらなる価値付与
- ・重点5分野を中心に幅広い業界をターゲット
- ・女性の多様なキャリアデザインに貢献

「データ関連スキル」×「高度な専門性」人材の重点育成

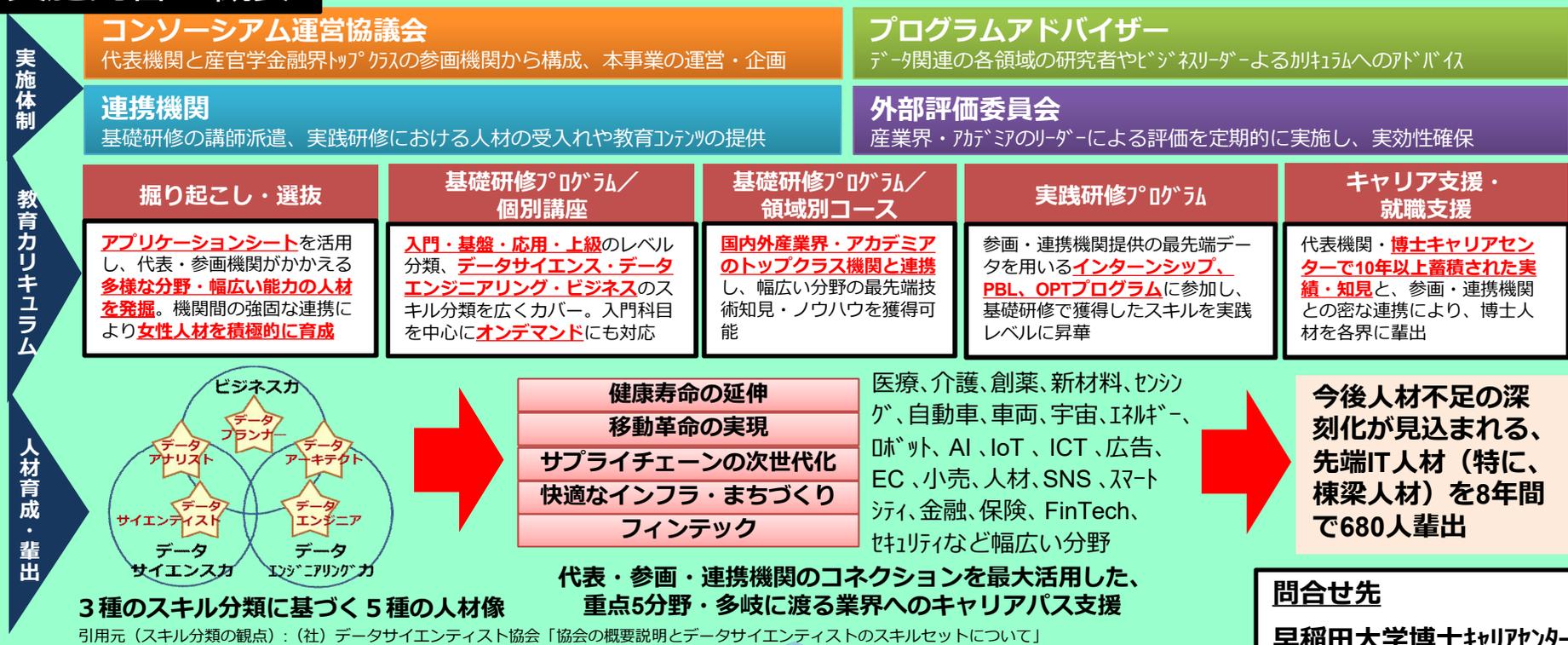
観点2：一気通貫・総合的キャリア支援

- ・掘り起こしから就職までの一気通貫支援
- ・具体的人材像に基づく受講計画作製
- ・学部生・修士の博士課程進学への意識付け

観点3：徹底強化する相補的・相乗的連携

- ・産官学金融連携・海外連携
- ・分野間相補的・相乗的連携
- ・教育・研究の両輪連携
- ・基礎・基盤・応用技術連携

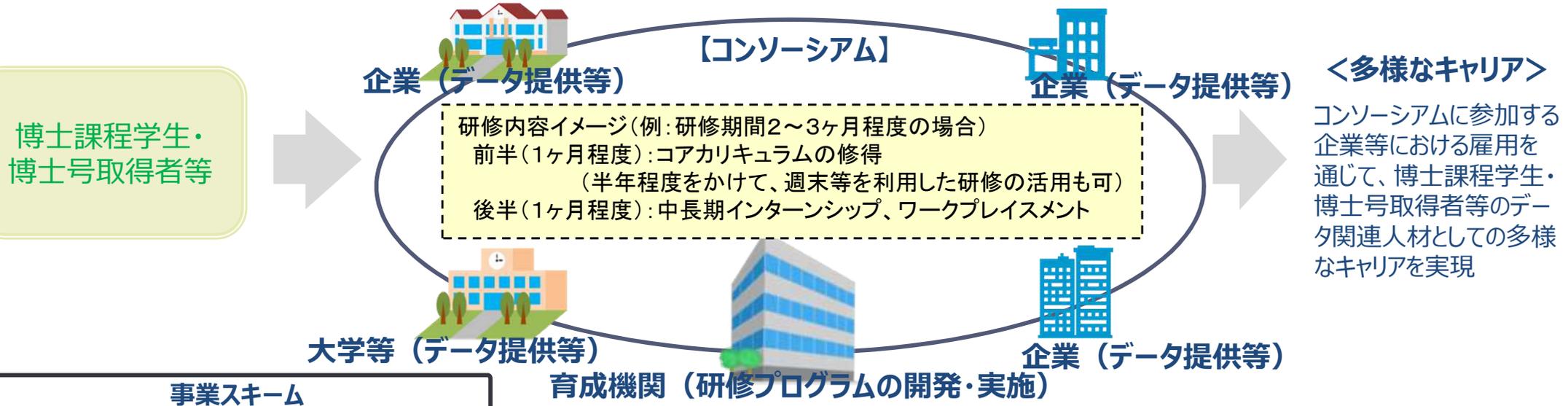
実施内容の概要



21世紀中盤の各界を担うリーダーシップ人材の育成に賛同する各機関からの協賛を基盤（参画機関・連携機関・他）

問合せ先
 早稲田大学博士キャリアセンター
 03-5286-8041
 dscc@list.waseda.jp

- 我が国が第4次産業革命を勝ち抜き、未来社会を創造するためには、**AI、IoT、ビッグデータ、セキュリティ等を扱うデータ関連人材の育成・確保が喫緊の課題。**
- 博士課程学生・博士号取得者等**の高度人材に対して、データサイエンス等のスキルを習得させる研修プログラムを実施することにより、我が国社会で求められるデータ関連人材を育成し、社会の多様な場での活躍を促進。
- 研修プログラムの開発・実施を行う育成機関が、データ関連人材の雇用を希望する企業、大学等とコンソーシアムを形成し、博士課程学生・博士号取得者等に対して、インターンシップ・PBL※等による研修プログラムを開発・実施**することで、各々の専門性を有しながら、**データサイエンス等のスキルを習得させる**とともに、**キャリア開発の支援を実施**。 ※(Project-Based Learning : 課題解決型学習)



事業スキーム

- ・ **育成機関が、データ関連人材の雇用を希望する複数の企業、大学等の他機関とコンソーシアムを形成**
- ・ **育成機関が博士課程学生・博士号取得者等を募集・選定し、コンソーシアム参加機関からデータの提供等を受けながら、データサイエンス等のスキルを習得させるための研修プログラムを開発・実施**
- ・ 研修プログラム修了者のコンソーシアム参加機関を含む**社会の多様な場での活躍を促進**
- ・ 研修プログラムの開発に当たっては、**AIPプロジェクト(※)による成果も活用**

※AIPプロジェクト (人工知能/ビッグデータ/IoT/サイバーセキュリティ統合プロジェクト、平成28年度開始事業)
 ・ 人工知能の革新的な基盤技術の研究開発等を一体的に実施

- 《支援対象経費》
 研修プログラムの開発・実施経費
 (補助率 1 / 2、補助金上限額70百万円)
- 《事業期間》
 最大8年間 (補助対象期間は最大5年間)
 ※3年目に中間評価を実施
- 《支援拠点数》
 3拠点 (コンソーシアム) 程度
- 《研修対象人数》
 70人程度/年・拠点